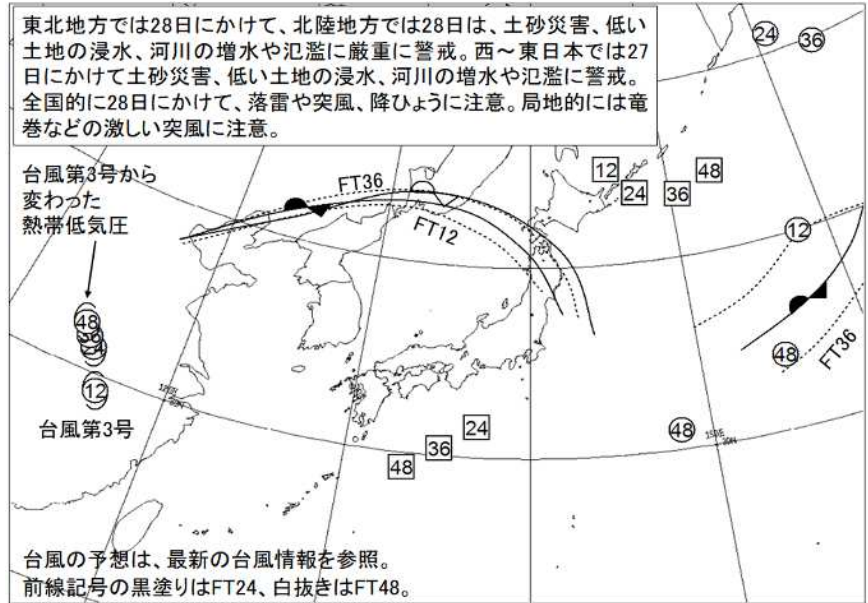


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5820m の正渦度極大域に対応して、前線が華北から日本海にのびている。
- ② 500hPa 5820m 付近のトラフに対応して、日本の東の別の前線上を低気圧が東進。
- ③ ①と②の前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、北日本では1時間に20mmの強い雨を解析。
- ④ 大型の台風第3号は、華中を北西進。台風を回り込む下層暖湿気の影響で、南西諸島～西日本の太平洋側では1時間に20mmの強い雨を解析。また、台風と太平洋高気圧の間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて、うねりを伴いしけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項②の低気圧は日本の東を東進。1項①の前線は、27日は北日本にのび、28日にかけて停滞する。前線に向かって流れ込む下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。東北地方では28日にかけて、北陸地方では28日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に嚴重に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。特に東北地方では、これまでの大雨で地盤が緩んでいる所や増水している河川がある。少ない雨量でも土砂災害や洪水災害の危険度が高くなる所があることに留意。
- ② 1項③の台風第3号は、中国大陸を北西進し、28日未明には熱帯低気圧に変わる。南西諸島では27日は、台風を回り込む下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となる所がある。落雷、竜巻などの激しい突風、短時間強雨に注意。また、強い風が吹き、うねりを伴いしけとなる所がある。南西諸島では27日は強風に注意し、南西諸島と西日本では28日にかけてうねりを伴った高波に注意。
- ③ 西～東日本では引き続き28日にかけて、太平洋高気圧に覆われ、晴れて気温が上昇し猛暑日となる所がある。熱中症に注意（熱中症警戒アラート参照）。日射による昇温と高気圧の縁辺を回る下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ①雨量(06時から24時間)：東北180mm。
- ②波浪：九州北部・沖縄4、奄美3m。
- ③高潮(明日まで)：西～東日本で注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。